

平成30年度 岩城中学校 学校関係者評価集計表

結果 : 4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない

評定 : A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

項目	評価指標	評価資料	アンケート結果 (%)					評定	○(自己)評価の分析・考察・◎改善策	学校関係者評価委員からの意見
			4	3	2	1	無			
教育目標	「確かな学力の定着と強くてやさしい心の育成」の達成に向けて、具体的に努力している。	教職員	33	56	11	0	0	A	○ 学校の教育目標達成のための具体的な取組が、保護者や地域住民に理解されている。	
		生徒								
		保護者	26	63	5	0	5			
		地域住民	33	57	0	0	10			
学力・学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	56	44	0	0	0	A	○ 生徒・保護者ともに、学力向上に向け努力しており、保護者の否定的な意見は昨年に比べて少ない。 ○ i プリによる取組が評価されている。	○ 学習習慣に関しては各家庭でもきっちり指導すべきである。  ○ 発表の仕方の保護者から見た基準は何か。4月の学級PTA等で中学生ならここまでできればいいのではないかというものを確認しておく必要があるのではないか。 全校で基準を作っていることを知っているのか、それとも自分の子を中心にしているのか。それによって違ってくる。場に応じて言葉を発することを意識して指導していく必要がある。
		生徒	55	45	0	0	0			
		保護者	21	66	8	0	5			
		地域住民	24	67	5	0	5			
	学習習慣・学習態度(家庭学習も含む)の育成に努めている。	教職員	11	78	11	0	0	A	○ 概ね良好だが、保護者と生徒の間で意識に差がある。 ◎ 個別の補充学習を充実させるとともに、家庭と連携しながら個に応じて家庭学習の方法等について助言していく。 i プリによる取組を工夫継続し、家庭学習の充実につなげたい。	
		生徒	68	28	5	0	0			
		保護者	16	58	24	3	0			
		地域住民								
	生徒は、発表の仕方や表現力が身に付いている。	教職員	22	44	33	0	0	B	○ 昨年度の評価はA 教師・保護者の評価には、「2」も見られ、本校の課題の一つとして今後計画的に取り組んでいく必要がある。 ◎ 対話的な学習を積極的に取り入れた授業を進めていく。定期テストに読解力・表現力を問う記述式問題を設定し変容を観察していく。	
		生徒	50	48	3	0	0			
		保護者	18	53	24	3	0			
		地域住民								
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	56	44	0	0	0	A	◎ 継続して新学習指導要領の趣旨に沿った指導や評価を研究していく。 ◎ 教員も地域の歴史や文化を積極的に学ぶ必要がある。	
		生徒	88	13	0	0	0			
		保護者	37	53	8	0	3			
		地域住民	52	43	0	0	5			
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	11	67	22	0	0	A	○ 昨年度の評価はB 歴史学習の実施や、職場体験、果樹試験場体験などをホームページ等で地域に発信してきた成果が出てきている。 ◎ 引き続き地域の特色を生かした学習活動を工夫していく必要がある。そのためにも地域の人材を積極的に活用していく。来年度は防災教育の研究もあり、より一層地域との連携を推進していく必要がある。	
		生徒	63	25	13	0	0			
		保護者	39	45	8	0	8			
		地域住民	43	43	14	0	0			
心の教育	望ましい人間関係づくりに努めている。	教職員	44	44	11	0	0	A	○ 道徳、授業、学校行事、部活動等を通して、教職員と生徒、生徒相互の望ましい人間関係づくりに努めている。その成果が現れている。  ◎ 「ふれあい学習会」や「人権劇」などの取組を今後も継続していきたい。  ○ 教職員・生徒ともに高い意識をもって取り組んでいる。	
		生徒	88	13	0	0	0			
		保護者	34	53	5	0	8			
		地域住民								
	生徒が命の大切さを実感できる教育の充実に取り組んでいる。	教職員	44	44	11	0	0	A		
		生徒	95	5	0	0	0			
		保護者								
		地域住民								
	人権・同和教育年間指導計画を立案し、実践している。	教職員	33	67	0	0	0	A		
		生徒								
		保護者	45	47	5	0	3			
		地域住民	52	38	5	0	5			
生徒はJRC活動や積善運動に積極的に取り組んでいる。	教職員	44	56	0	0	0	A			
	生徒	60	40	0	0	0				
	保護者									
	地域住民									
学校体育	体育の時間や走楽タイムなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	67	33	0	0	0	A	○ 生徒・教職員ともに体力づくりに取り組む意識が高い。保護者も概ね肯定的である。  ○ 生徒・教職員ともに部活動に取り組む意識が高い。保護者も概ね肯定的である。  ◎ 保護者に引き続き、部活動の方針や年間の予定等、各部の保護者会等で理解を図る必要がある。	
		生徒	88	13	0	0	0			
		保護者	50	47	3	0	0			
		地域住民								
	生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる。	教職員	78	22	0	0	0	A		
		生徒	88	13	0	0	0			
		保護者	50	47	3	0	0			
		地域住民								

結果 : 4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない  
 評定 : A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

項目	評価指標	評価資料	アンケート結果 (%)					評定	○(自己)評価の分析・考察・◎改善策	学校関係者評価委員からの意見
			4	3	2	1	無			
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし充実している。	教職員	56	44	0	0	0	A	○ 運動会や文化祭など生徒の活動を評価する意見が多かった。生徒も充実感・満足感を感じている。	
		生徒	95	5	0	0	0			
		保護者	47	50	3	0	0			
		地域住民								
生徒指導	生徒一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応に努めている。	教職員	67	33	0	0	0	A	○ 生徒一人一人の意見をよく聞いてくれているという意見があった。 ◎ 少ないながらも生徒の中には否定的な意見があるので、これらの意見も大切に、生徒の様子にしっかりと目を向け、早期発見・早期対応を心掛けたい。	
		生徒	73	18	10	0	0			
		保護者	13	68	5	0	13			
		地域住民	43	38	5	0	14			
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成に努めている。	教職員	33	67	0	0	0	A	○ あいさつについては、地域の方から、よくできているが、全員ができているとは言えないとの声をいただいている。	
		生徒	33	55	13	0	0			
		保護者	39	42	16	3	0			
		地域住民								
	進んで気持ちのよいあいさつができている。	教職員	33	67	0	0	0	A	◎ あいさつの重要性を教えるとともに、どんなときでも自然にあいさつができるよう指導していきたい。	
		生徒	73	28	0	0	0			
		保護者	53	45	3	0	0			
		地域住民	62	29	10	0	0			
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	11	78	11	0	0	B	○ 昨年度の評価もB 引き続き、学級PTAや個別懇談会などを通じて、家庭に対する情報発信を積極的に。家庭と連携しながら進路について話し合う機会を設ける。 ◎ 今後も地域の人材の活用を積極的に行い、キャリア教育を充実させていく必要がある。	
		生徒	50	30	13	8	0			
		保護者	26	42	29	3	0			
		地域住民								
学校保健安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導の充実に努めている。	教職員	33	44	22	0	0	A	◎ 特に非常災害時の対応や地域との連携についての研修を行う必要がある。	
		生徒	93	8	0	0	0			
		保護者	39	53	8	0	0			
		地域住民	48	52	0	0	0			
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	0	89	11	0	0	B	◎ 配慮を要する生徒への対応やユニバーサルデザインを考慮した授業などの研修を進めていきたい。	
		生徒								
		保護者	6	41	22	3	27			
		地域住民								
保護者・地域との連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	22	78	0	0	0	A	◎ 学校からの情報発信を密にし、信頼関係を高めていく。	
		生徒								
		保護者	34	45	8	8	5			
		地域住民								
	「学校だより」や「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	56	44	0	0	0	A	○ 概ねよい評価であった。	
		生徒								
		保護者	32	55	8	3	3			
		地域住民	48	52	0	0	0			
施設設備	校舎内外の美化に努めている。	教職員	44	56	0	0	0	A	○ 概ねよい評価であった。	
		生徒	98	3	0	0	0			
		保護者	45	47	3	3	3			
		地域住民	52	48	0	0	0			